



# 千葉大学医学部ヨット部報

Vol.27 2015/8

## はじめに

今年も大変な猛暑が続いておりますが、先生方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。私たち千葉大学医学部ヨット部は、5月に新入生を6人迎え、現在夏の東医体を控え部員一同、優勝に向かって頑張っております。こうして日々練習に打ち込めますのも、先生方の日ごろの温かいご支援のおかげと部員一同感謝いたしております。

一方で、セール代の高騰やヨット部品の高騰で年々経費がかさんでいるという事情もありますので、OB会の年会費を長年お支払いになっていない先生方には、大変恐縮ではございますが、早急にお振込みいただくようお願い申し上げます。

本報では、ヨット部OB会長山浦先生、部長清水先生のご挨拶、全学ヨット部の監督であり、我々医学部ヨット部の監督もしてくださっている斉藤威総監督のご挨拶、新入生の紹介、東医体レースメンバーの挨拶をお届けします。

## OB会長挨拶 「お辞儀について」

OB会長 山浦 晶 (昭和40年卒)

お辞儀とヨット部活動には直接の関係ない。  
これまでいろんなお辞儀を見てきたが、今回書いてみたくなった。  
社会人となる諸君に、多少の参考になるかもしれない。

お辞儀の仕方でもっとも印象的だったのは、某銀行の相談役が私をエレベータまで送ってくれた時にみせた礼である。私が銀行の幹部室を訪れたいきさつは覚えていないが、その銀行の活動に専門的立場から何か協力したものと思う。  
エレベーターホールで言葉を交わし、私はエレベータの中から扉の外にたつその方に会釈をした。しかしその方の礼は、深々と頭をさげ扉が閉まるまでそのままの姿勢を保っていたのである。薄くなった御髪の真ん中が、両側から閉じた扉が閉じ終わるまで見えていた。私はあわてて2回目の会釈をすることになった。

他にも印象深いお辞儀がある。君たちの先輩が卒業証書を受け取る時見せたお辞儀の仕方である。卒業年度は忘れたが、毎年同じように繰り返されているのだろう。市内の大

会場で合同卒業式が終わり、一同医学部にもどり、各卒業生に証書が渡される場面である。一人ずつ前へ進み、一段高い演壇に立つ医学部長から手渡される。ある者は歩きながら頭をさげた。ある者は演壇に片足をのせたままお辞儀をした。授与者に対して斜めのまま頭を下げると、顔はどうしても正面を向けない。深い礼、浅い礼さまざまであった。お辞儀の仕方など考えたこともない諸君だから仕方ないのか。

お辞儀は 15 度、30 度、または 45 度と、腰の高さで前屈させるのだそうだ。それぞれ、会釈、敬礼、最敬礼と呼ばれる。頸部では曲げない。背中も丸めない。ずっと前屈しゆっくり直るのが良いそうだ。確かに見ていて、きれいな礼をする人がいる。

こんなこともネットで調べられる時代になった。一回ぐらい調べて見てください。何かいいことがあるかも。

## **部長挨拶 「空間のイメージ、物体のイメージ」**

部長 清水 栄司 (平成 2 年卒)

現在、「上脳・下脳 (うへのう・したのう) (脳と人間の新しいとらえ方)」(ステイーヴン・M・コスリンら著) という認知神経科学の本を読んでいます。

この本は、右脳がイメージ・芸術脳で、左脳が言語・分析脳という単純化されすぎた神話を打ち破って、現代の認知神経科学で示されている上脳 TOP BRAIN (前頭葉の大半と頭頂葉)・下脳 BOTTOM BRAIN (側頭葉と後頭葉) に分けた方が、周りの世界への取り組み方や他者との接し方の根底にある人の全般的な思考法を意味する「認知モード」の違いを説明しやすいという内容です。

ヨットだけでなく、様々なスポーツで、イメージ・トレーニングやメンタル・トレーニングが重要とされていますが、コスリンの提唱する「認知モード」理論を応用してみましょう。

左脳型、右脳型のように、人間を「視覚型」の人と「言語型」の人に二分する試みは、長年かけてどうやってもうまくいかないことがわかってきました。一方、認知神経科学の手法で、人間は、空間のイメージをするのが得意な人と、物体のイメージをするのが得意な人に二分できそうだとすることが示されつつあります。

私たち人間は、目の前に存在しないものを頭の中に思い浮かべることができます。この思い浮かべる像を「心的イメージ」と呼びます。①空間の位置関係に関する心的イメージと②物体の形や色に関する心的イメージとでは、①が上脳を活性化させ、②が下脳を活性化させることがわかってきたのです。

たとえば、あなたが、友達に、近所のガソリンスタンドのことを教えようとする時に、頭の中に、自分の立っている場所とガソリンスタンドの位置関係の空間イメージが浮かんでくる場合と、ガソリンスタンドの赤くて四角い看板の物体イメージが浮かんでくる場合がありますよね。

ヨットのレースにおいては、空間イメージが重要に思います。スタートライン、上マーク、サイドマーク、下マークにおいて、風がどのように吹いて、有利なコース取りは、ど

れであるか、風を体と目で見ながら、空間イメージをとらえて、レースを進めていくそんなイメージ・トレーニングをしていきましょう。

自分が失敗するというネガティブなイメージが頭に浮かんでくるのは当然であり、それを無理に抑制する必要はありません。ネガティブなイメージとともに、自分が成功するというポジティブなイメージも頭に浮かべ、上手にバランスをとって、レースを進めていきましょう。

## **監督挨拶 「いい仕事をしましょう」**

千葉大学ヨット部総監督 齊藤 威

「いい仕事してますね……」毎週火曜日夜の『開運！なんでも鑑定団』（テレビ東京）鑑定士の中島誠之助さんの決めセリフです。今は脳梗塞で娘さんが出演しているようですが、鑑定団に持ち込まれた骨董品の出来栄を「いい仕事してますね」と評価していました。時に本物ではなく贋作であっても本物以上に出来栄が良かったり、色合いや艶が良かったりで、「いい仕事してますね」とその品の作者を褒めています。鑑定に出した出演者も「残念」と言いながらも、今までどおり偽物を愛おしく、大事にしたいと思うようです。

ところで学生のいい仕事ってなんでしょうか。もちろん学業の成就なのでしょうね。今年の入学式では徳久学長が「学業で頭脳ができる」とスピーチされたようです。そして「部活で人格ができる」とも「私はヨット部でした（キャプテンになりたかった……）」ともスピーチしたことでヨット部入部者が増えました。学長公認の部活も学生の仕事ではないでしょうか。特にヨット部は。

それではヨット部でのいい仕事とはなんでしょうか考えてみましょう。

まず1年生。それはヨット部を選んだという正しい部活の選び方をしたのだから、それを続けることが一番のいい仕事ではないでしょうか。くじけそうになった友がいれば「一緒に頑張ろう」と励ましあい、未だ部活が決まらない1年生がいたら「ヨット部は君を拒まない」と言ってあげましょう。

レースメンバー予備軍はレースメンバーを支えることが一番のいい仕事ではないでしょうか。部の雰囲気作り、部活の安全、安定の確保が課せられた仕事で、レースメンバーが雑念なく気持ちよく練習に励むことができるようにしてあげましょう。時にはレース練習でレースメンバーより前を走っていい刺激を与えてあげましょう。

レースメンバーはといえば、それはもう言わずもがなで「勝つ」ことがいい仕事です。もちろん東医体での優勝が目標ですが、その前に休みたくなる自分に打ち勝って残された数日の練習をやりきることが一番の仕事です。「練習は嘘をつかない」「強く思えば叶う」です。「苦勞を避けたがるのは勝利への道を自ら捨てるものである」です。

そしてみんなに共通して言えるヨット部でのいい仕事は、学生生活の中でのヨット部生活を進んで自分のものにする、ヨット部の皆にとけ込むことです。孔子の言葉に「最もすぐれているのは、事柄と一体になって楽しめる人」というのがあります。これをヨット部

の部活に例えれば、「ヨット部生活のどんな事柄についても、それを理解している人よりも、それを愛している人のほうがよく走る。その人よりも更によく走る人は、ヨット部生活とすっかり一体になって楽しんでいる人だ。」

また、この「ヨット部生活」をヨットに置き換えることもできます。つまりヨットを愛し、ヨットと一体になることです。普段からの艇の手入れ、状況に応じた艇のチューニングとハンドリングをし、ヨットと一体となることです。これがいい仕事ではないかと思います。いい仕事ができれば必ず艇は走ります。「艇も嘘をつかない」です。

そして、ヨットを波や風に置き換えることもできます。将来は仕事にも置き換えられます。恋人にも置き換えられるかもしれませんね。

さー皆さん。いい仕事をしましょう。

## **新入部員の言葉**

2015年度新歓コンパにて、6名（男子3名、女子3名）の新入生が入部しました。夏まではまだまだヨットに乗る機会は多くはないものの、ヨットという新しい競技をどんどん吸収していっています。ますます大きくなっていくヨット部の原動力となっていってくれると思います。

それでは新入部員たちの挨拶です。

### **榎並 奏（埼玉県立浦和）**

これから6年間、部活の先輩や同学とともに、ヨット部でより上を目指していきたくと思っています。

まずは、早く一人前になれるように頑張ります！

### **篠原 雅貴（桐蔭学園）**

僕は、自分で言うのもなんですが負けず嫌いです。6年間ヨットをやると決めたからには、いちばん高いところを目指します。

辛い時も、楽しい時も、追い風の時は風に乗れ、どんなに向かい風が強くてもヨットの様に進んでいけるように6人で頑張っていきたいと思っています。まだまだ何もわかりませんが、これからよろしくお願いします。

### **志村 和佳（女子学院）**

水を切って走るヨットを見て、やりたい！と思いました。ヨット部で充実した6年間を過ごしたいと思っています。

一生懸命頑張ります！

宜しくお願い致します。

## 辻本 慈瑛 (海城)

六年間やるからには、やりがいがあって続けられそうな部活をやりたいと思ってヨット部を選んだので、六年間やりきりたいと思います。よろしくお願いします。

## 村田 桜子 (桜蔭)

色んなことを見て、聞いて、体験して、吸収して自分のものにしていくことを、忘れずに続けていく部員でありたいと思っています。

何よりも、ヨット部に入部を決めたこの強い気持ちを忘れるな！って自分に言いたいです。これから、よろしくお願いします！

## 八木 はるか (桜蔭)

楽しいことも大変なことも、ヨット部のみなさんと一緒に、精一杯頑張っていきたいです。まずは仕事ができる一年生を目指して頑張ります。

これからよろしくお願いします！

## 2015年 東医体レースメンバー紹介

今年も、医学部ヨット部の最大の大会である東日本医科学生総合体育大会（東医体）が近づいてきました。本戦は、8/7～8/9に、昨年の葉山新港とは異なり、江の島ヨットハーバーにて行われる予定です。8日と9日には観覧艇も出航致しますので、是非、レースの応援にいらしてください。レースメンバー：5年生3名、3年生3名、2年生1名、セールナンバー：4486, 4413, 4305 で出場します。



レースメンバー全9名  
@江の島ヨットハーバー

左から順に、  
西織，遠藤，小川，西川，  
石坂，古谷（誠），生嶋，山  
本，和田

それでは本年度のレースメンバーの挨拶です。

## スキッパー

山本 大基（5年）

応援してくれている部員のみんなやOBOGの先生方に恩返しするために、そして何より自分と仲間のために、いまを全力で楽しんでヨットと向き合っていきたいと思います。

石坂 昌太郎（5年）

5年間のヨット部生活の集大成として力を出し切れるよう頑張ります。応援よろしくお願ひいたします。

小川 美咲（5年）

江ノ島での練習も始まり、いよいよ東医体が近づいてきたんだなという実感が湧いてきました。それと共に、2年前僅差でメダルを逃した悔しさも今まで以上に思い出しています。

今年の東医体では、その悔しさを晴らせるよう、最後まで諦めずチーム一丸となって必ず優勝したいと思いますので、応援よろしくお願ひいたします。ぜひ東医体にも遊びにいらしてください！

古谷 誠（5年）

今年は東医体優勝します。

西織 浩信（5年）

OBの先生方や部員の期待に添えるよう全力で頑張りますので、どうぞ応援よろしくお願ひいたします。

## クルー

遠藤 雄二（3年）

1年間部員一丸となって頑張ってきました。ぜひ応援よろしくお願ひします。

生嶋 光（3年）

昨年の医科歯科大会に引き続き、好成績を残せるよう頑張ります。応援の程よろしくお願ひします。

西川 侑成（3年）

レースメンバー一丸となって優勝したいと思います。応援よろしくお願ひします！

和田 七海（2年）

自分にとっては初めての江ノ島初めての東医体ですが、やれることは全てやり、最高の夏になるようにがんばります！

## 医学部ヨット部の夏の日程

8/5～8/9 東医体（江の島ヨットハーバー）

8/5 プレレース

8/6 女子レース

8/7～8/9 本戦（9日に引退式・幹部交替式）

8/11～8/13 関東医科歯科学学生ヨットレース（江の島ヨットハーバー）

8/11 プレレース

8/12～8/13 本戦

8/16～8/19 稲毛合宿（稲毛ハーバー）：1年クルー・2年スキッパー養成合宿

## 2015年度 現役部員名簿

部長 清水 栄司教授

6年 栗原 滉平

涌井 凜子

荒木 岳

坂崎 仁美

古谷 慶太

5年 山本 大基

小川 美咲

古谷 誠

石坂 昌太郎

西織 浩信

浦野 亮

4年 主将 長久保 源太

主務 大和田 彩夏

会計 駒井 佑哉

石原 慶

島田 遼

中島 理子

相原 優美

3年 遠藤 雄二

生嶋 光

西川 侑成

張本 英男

2年 佐藤 玲子

高橋 誠志朗

千葉 えみり

林 亮佑

凌 将登

和田 七海

1年 榎並 奏

篠原 雅貴

志村 和佳

辻本 慈瑛

村田 桜子

八木 はるか

## あとがき

現在私達千葉大学医学部ヨット部は、東医体優勝に向けての合宿期間に入りました。今年には昨年の葉山新港から江の島ヨットハーバーに戻ってまいりまして、ハーバーの設備も新しくなり、より素晴らしい環境で練習に励むことができます。

このように、部が活気を持ち活動を行うことができるのも、日頃からの諸先生方の御支援御協力のおかげと、大変感謝しております。今年の夏も、先生方には是非良いご報告ができますよう精一杯頑張ってみようと思っておりますので、温かいご声援をどうぞよろしくお

願ひ致します。

9月には稲毛ヨットハーバーにてOBレースを予定しております。詳細は追ってご連絡させていただきます。ご多忙の折とは存じますが、多くの先生方のご参加をお待ち申し上げます。

また、私たちの活動状況・レース結果などは、ヨット部のホームページにも掲載しております。お時間のある際には、是非ご覧になってみてください。

<http://chibamedyacht10.web.fc2.com/>

#### 編集後記

千葉大学医学部ヨット部報もおかげさまで第27版を迎えることができました。今回の発行にあたり、寄稿して頂いた先生方には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。冬には、夏の大会の結果を載せた部報を発行したいと考えています。良い結果を報告できるよう頑張りますので、是非東医体・関東医科歯科戦に注目しててください。

4年主務 大和田彩夏